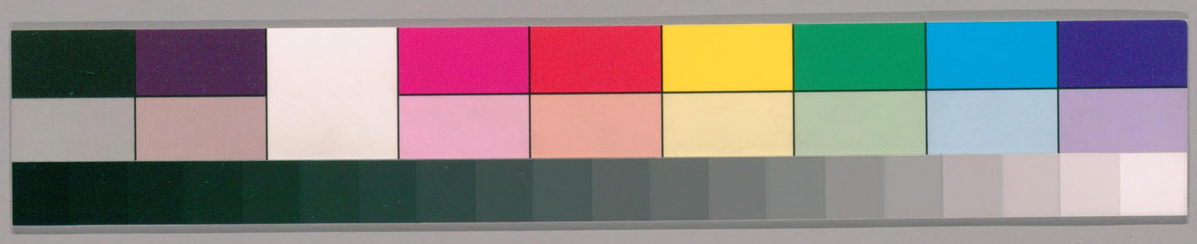

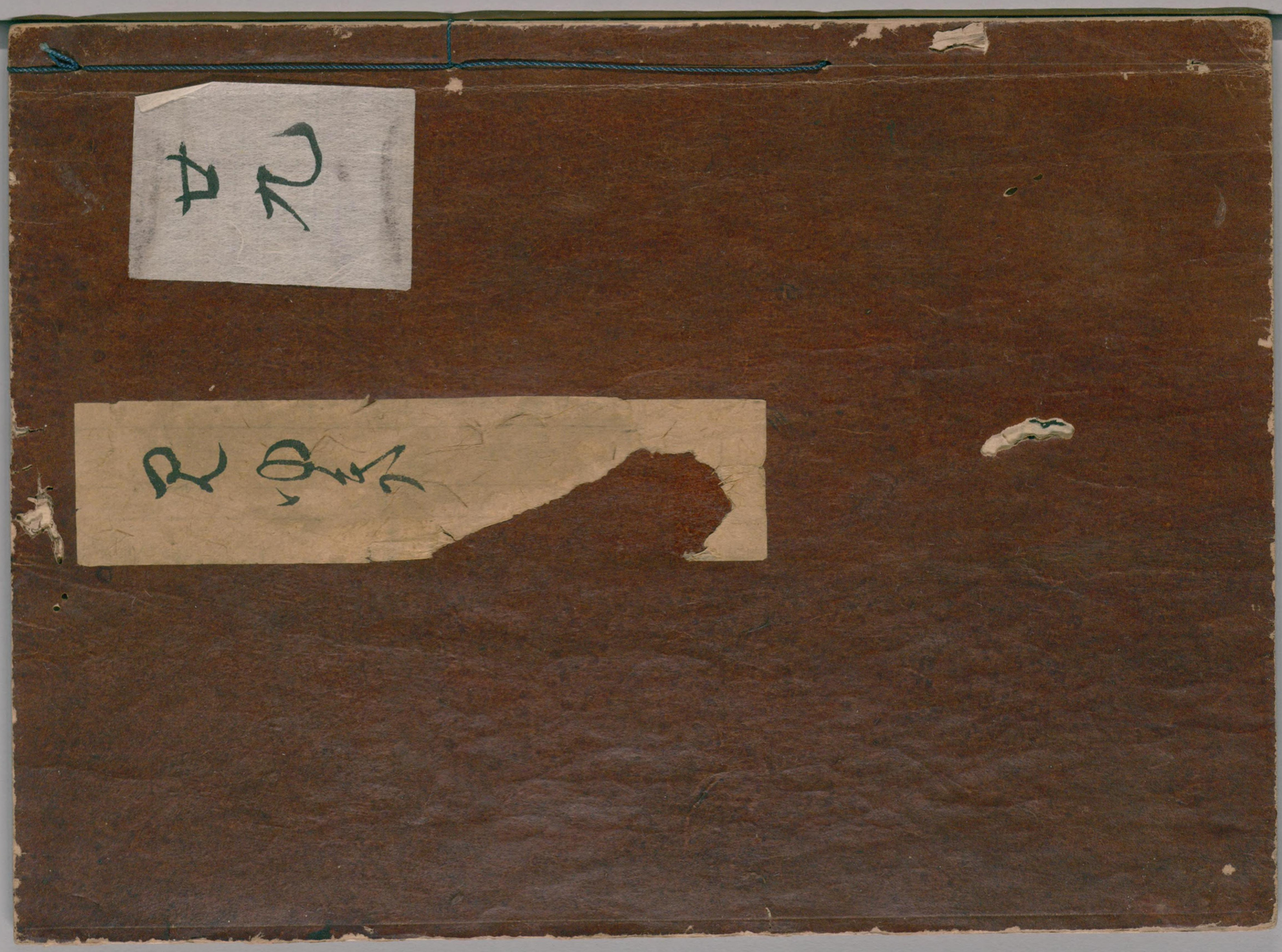

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

第廿九

共五十四巻

渡利邑

松浦氏

2017.2.9

玉カツラノ巻ヲ退ケテ

おくれ奉りつるほどなくてよろこび川向
むかへ奉りつゝ、ありつる御ありさまのはゝ君の御心ア
そうしてやがてそこにみのうへ
こまかにきこえ給ふ。源氏の内府
こゝろぐるしくいとゞもの
なかにもいかでかくこゝろぐるしきものやなて
もおやうなをみうしなひ奉りて
てうふのこと人なくみさびしきところに
うくひきかづきみのあの時は出家

ちうみ水のおもてちとみ（西）
へもとまて物え車ひさうれ
らひうしをうゝぬをなよ
みおひこゝろまゝ（シ）ふひ
そのかちさひ（人セイコロシエフ）ふひ
うゝふおー（サユウ）なた大臣大（ドウゴン）納言
まてておらひ（常ハ不用）ひうまつをな
きあをひうのへのさをを殿上人又位ある
えうと言いさゝうちちりてみちのをひへん
なうよみとち上達部なうひ（ひイ）うつゝひ
のへおをやつゝきうとのはうひとをきう

のはうへ（近衛ノ舎人カ）のたうひとゝをまして
ちむをみをまえ作ゝけさ
くおりさとよきほひ出はう
をうなうゝうし車なう
うこれのなもあうう（行幸之取先ヘ行テ格子トカ孔桂門ヲ
あまうちさ海うよ車（ようこ）
の場をもち出なうこゝいとをつゝおう
人のこの（付女）ちをみはうのうの
のをこそうりてうれはゝ
うつのみなおゝ色更ゆへ
ほ人ゝをひの程作あよきくも

う物さそひてあそびありくをふとりの
うちにいて人まをくれさるいと
あ(争聴ス)やし(天敷ノ或出ス半身ノ)
ふ人ともありよろしきをくくちうやおとこ
さそふをひかれの殿上人やう
の人をおほくもうでつどひ(キヨ珍泉ノ世ス)まろいとのも
ひなりけりまもなくなりぬ(源氏ノ)
さ夜ふけてこのときみしぬいかに
いとすごう(イ)ものさしたるひなりさ
されたくひをなくうとうくおほ
れ人を皆相ひきりてひとなべいとの(勝)
のこほ(メ)ゆめなとの古もひよ給(ヒケノ)
さ(冷)しとそのうくそするうやうん(目梟)れ
ともみそ(ヒケノ)ろれしそをゆまし(賞)ろや多つ
もおそすたゐ(ヒケノ)ろおのさしうをおふゆく
もなふのうひいてなたやなくひなも
ひくほうまつをかくろくひきうちよみて
ていもひ給えなりのつでのうそ女のほくろひさて
なうなのいろうひまを給よ(ヒケノ)
そ給見うえ(む)古ちまそえ(玉ノヒケノ)ろ
のもの却(む)玉ノ六仕ニト
けうへてもひらくみ(ほ)

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号　　ガラス使用

（次ノ三）
（ナセ）ヨタテキ三ヨオツモ心カワヨ八行カ心
（玉ノ又）
（モギノツイテモ）
（キサラキ）（モギイ）
（名）
（於仕）
（於仕ノ仰ヨト云ヲクくれ）（アラシト）

（手スクヨ）
（トリ）
（於仕ノ仰ヨト云ヲクくれ）
（エホシシヤトラカ）

（ノ）四月ノ服アルヘシ　三条ノ宮病中ナレハカク思食
志深もう給ふるよしを御覧
まくさの一ふさもえけさ
ふるふものこころうくて
て三条の宮へ渡とみるひ
をまちえしひやうふ渡
ねとうすゝをくくよく
ひのうちなとつあの
志うみえくまつ渡
さもやをてゝ
うくにうらてうしのなれ
やうし給ひ（ハ内ニ次ノ草ト）

ノ御方のひまをまちてやとゝ
ひをめまゝのやうをものせ
あつるをうもやうしさを給ふ
なるをなくてなれうさをぞ
うん人ともなくてそのまを
よ（ノトカニ）さくなりうしひなまし
さるんこ（腰ナシ）ねまそ（ノ）まて
もいそをんへめまそ（ノ）やしを
まうふそのうさよる九渡つゝ
のをもつのやをと思ひへ
ぬうをゝとゝとをゝ

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用

きてはるくりくおすはせまくこ
やうう人さおくそのうえとうひおこかまりまや
うようこうてそ名ら人もりひのうひなりなおおお
給まてそそうろ仕せうりいてくそうえ人の
なとうてひめぼれみ汚よ所
とくおりて大ノうひ人ぐ添ノうまこ
なれまゆまてそそ汚事もやや
ひ色るんうすめやーやうとうこ
うつさ汚よーそこ給ー娘かこ
もまを給ひ要んと人ま所うくひ添心ひ
ろはのうとこ汚所てきよめやそ
うくそさまそぐこと所
色なぐうう口所ー気よあつまのすをまうやう
ゆうこもむぐ気ようぐきうぐれ
なふまーにはまくもすをまなの
うう面をくこんぐめまつてたし
やーうそさうを人こをれおまひ
まのゆるうとゆくゆうをうれお
つまそさるひのひぐもものりー
おうちにこれひたつひうこと
てさくさ所とのくくそのそくひ
もなおうつまを四の人ゆるてお
うひもみ

洗濯ノ心上ニキヨメノ内ノ
渭世ノ云
所仕ノこり玉ワン人ノシトヘ
不之
所仕ノ内ムスメ所レラスメノ所トヘ
所仕ノ女子牛内ムツヒスヘクハ
ヨナオフ

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

給らひして年月頃ほろをいふ
(令)
間なおほをゝろかやうなんなに
ほのゑまうん人なくてそうの(内ノ市)
けふく女房(内ノイトニテノ女房ヤ)なるもおやもあ(ご)
まうちきなくくみぐくやう
をゝ今うゑ(古光)ろ(内ノスケシ)ますの二人又
ろくゑんてさ海くみやう
ゝつ要給うんたつのまたく
(家ニテノニヨコノ文)
打家ゝうんのたほゝまろう
よそたゝ人うんゝすへゝう
をたふゝをのうんとうんゝ
うれもしとまをなゑまし
給うん文(ニキモクヘルモ文社ハカリハ島ノ九ノモ)ゝすぐ
ひをうび出(イ)ようしゝうさ
海まくさゝとろのやうを
ゝれおもしさ給志ゝ先
うすおろりゑやうふお
ゝとうんゝ我力のうん
ほのことまへ四ひう

(ヲ云ノ労)
てもゝ月のうに(於)なものひたらひあれと
叩らんへゑもゝとなゝ
をたふゝをのうんとうんゝ
うれもしとまをなゑまし
給うん文(ニキモクヘルモ文社ハカリハ島ノ九ノモ)ゝすぐ
ひをうび出(イ)ようしゝうさ
海まくさゝとろのやうを
ゝれおもしさ給志ゝ先
うすおろりゑやうふお
ゝとうんゝ我力のうん
ほのことまへ四ひう

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用

うやにくひなりうつ〜されどえうくの治
もまいめんすへくまちおも
つ〜あるう〜まいつくくうを
ものなとおぼ〜なひてはさう
ほくろひてごぜんなうもう
らくわうをおもさちやそ
そのくう〜そのう〜ぴ
ひ物〜のうねてさもうひて
りちおもまひたる（よの好し）といふ
ろのひはさう〜ぬ（直衣のし）
うちひさてゆうくとう
るうあれさうくしやみしも
うのそのものはるう〜いてや
ねくしどおひひさうん
物なう〜のうる（源氏）
ひえ（ぼ）くろひねうう
事ねさるとりおう〜いやうきまなどうへてもみ
ねうんのう〜ぬ（内府ノ子）うさう
ひえ（ぼ）くろひねうう
事ねさるとりおう〜いやうきまなどうへてもみ
なうはなっうひうくいやうこのなり
たえなてつさもさしねうさりくこのなり
つくほくそのう〜ねうやもひれまひえ
もさくやひうとなひ人をのう〜ねうやもひれまひえ
くうやにくひなりうつ〜されどえうくの治
もまいめんすへくまちおも
つ〜あるう〜まいつくくうを
ものなとおぼ〜なひてはさう
ほくろひてごぜんなうもう
らくわうをおもさちやそ
そのくう〜そのう〜ぴ
ひ物〜のうねてさもうひて
りちおもまひたる（よの好し）といふ
ろのひはさう〜ぬ（直衣のし）
うちひさてゆうくとう
るうあれさうくしやみしも
うのそのものはるう〜いてや
ねくしどおひひさうん
物なう〜のうる（源氏）
ひえ（ぼ）くろひねうう
事ねさるとりおう〜いやうきまなどうへてもみ
ねうんのう〜ぬ（内府ノ子）うさう
ひえ（ぼ）くろひねうう
事ねさるとりおう〜いやうきまなどうへてもみ
なうはなっうひうくいやうこのなり
たえなてつさもさしねうさりくこのなり
つくほくそのう〜ねうやもひれまひえ
もさくやひうとなひ人をのう〜ねうやもひれまひえ

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』　請求記号
ガラス使用

ひくるし
大云 ふさふさよりひそゆきを
なれうまこなりなまとゆるうつくえ
治へ殿(ほ)もこなるまおくまやくえ
らてさもるなれやこいなる
あこうえなれとやくしやうのはてよひーい上
すよそのーありてとくうやくひめ
そのようあるのをやくはてうひのる
なしおもこうくりまつれた
れうかニ十一字れなうよう
色(きヲサリとクれトし)よるえなりとひそうひのる中宮

ようもあるえはこうきあはうくはくうあ
なぐなとやくみなくてれぬれつとをまうの
なよねむことにうなつまうのうくそたちつ給へうと
はうくくえれもはあうそくくのれうう
うあふさまてとうくみやくの(仕出)うさま
をやをかあうをさ而くまはをてうまのはむ
もまよやこほうくめへまうみ而おと
ひれうう(左ち)れ院の人くもうう
まやとふうひえあもぬべきはそぐさく
すぐうまひ(末ム)ちへ宮はえ院(古代)のえ
くうそうえまとれおうそのえ
```
国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用
```

ほしうてゐうそうあのほいうそ
さきてそぐさむとおりてうそ
でおりるあれなるはむさなし
のあてなぐひとうそひとうとにび
やひしのんのてうしあれうてめうう
ほ一をひしされのそしきりみゆるうれらめは
こうきとととむそこうのまてて
もうてをれなくへうもはあこう
うすうもゆしねでくまりまどうろおうそ思
めくまのびぐくうんあまやいやおやしのまぐ
人うぬんせうとおりの殿(次)ほうしてを

ていてあさまうれるおやおびそ
るありやさ気ゆう人こそあまし
うる人をりさうとうよはまし
ぶまやとそせことはうそみ
んちくみ(ヒタチ)そのいやうるうし
まを人(ニシトラセンモ)なれとさんさむぐるこ
汚はこうぼのさりとにまぐ
うりうを
末
ゆう方こうをられまう夜ものなや
になれすと思へまてもひしたふうてい
やうるうをぐうこそ加リイレタル(ナウ)うようう

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号　　ガラス使用

にしうひさなを（異）
思ひそこしへまでとうやましの
（前始ニモ之ノ行ノ末ニテ）うなりさ海をのりてさや
たなるここみしおもくをも
てなしおどさなとなり（仲）く
思ひまし（内大臣ノ子ノ一當ノ巻ニつり）の人今そ
つ要りる女（コヒテン）ここさ（五ノ一）
こしおる世の人きこまをこれまーるさ
をとちよあのへとは（近マヰミ）ぬかものくくをいの（内大臣ノ子ノ一當ノ巻ニつり）
なりるおんよひちしやうくやうし
ゆくくをいのりつかものくむきてて女河のれ

（山石モル）きへよおねおあくひ
ひものまうけ給へでなりあれ
二の（近ト涙ト）くなそおさらんを
なりとあふ（ツイスル心モナキ体）ぬけのへ（近マヰ）
とおほして抱もの名をそ
きゆへそのおさらめさ
法うくゆくなくうち出給うこのひそぐなう
お女房なくもみとも
のそこれきて（抱一封ノ近ニ云）ゆめ
文（抱一手リ文ハ内ノナントニ成ヤセント我ニメ思ニニトセ）
（抱一ヲモテ）ぬみやそこうち

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

いとうてをやみをやりてひくしうえ
ふるさとなどのおなしものんまうんをゆらん
きんまそそそそをのはうらにおなき
げすそびおうしさをもなくいとうそうはうえ
おやまおくくもなりてやとうとうそうをも
たくのゆうんひくくえおくのことをも殿
うう申さをたくさくはうやくしてやし
をもうみのゆんそそもうしうくおうしく
おもを流れ帖のうろなとうくおうし
ゆべくもおもをすべきい
てうんなくゆうおもてうっみそ

秘こしヨシコロト云心

女人申事ニ言シメテ云シヨリ

まりかうこぐるしと思ふ殿シト、も知ろく
死おもをあふこのもみるそよろぼまれるまと
てよぐるひぐさうはくをゆくどよ世人をもぐ
のてうりなかめゆなてさ海くいひり

内大臣ノ近江キミノヨロコカラスハチシニテカクアリカハチシニキフハシテトハ云ハ畢竟恥シテアレ恥シクロスレテノ心

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』　請求記号
ガラス使用